

国際教養大学交流事業  
町内の中学生が外国人留学生  
と異文化交流しました

11月26日、八森・峰浜両中学校に国際教養大学の学生13人が訪れ、ポルトガルやイギリスの留学生などと交流事業を行いました。

この事業は、このほど同大学と町が国際交流事業に関する提携をしたことをうけて開催されたものです。峰浜中学校では、留学生が自己紹介とそれぞれの出身国のPRを英語で行い、中学生らは真剣に聞き取っていました。その後、中学生からは英語で町を紹介したり、年賀状の書き方を教えるなど、異文化の交流を行いました。

今後、この交流は月1回程度開催され、小学校や子ども園にも訪問する予定です。



なごやかな雰囲気でお話しました

別海町の学芸員が講演  
当町出身者、  
加賀伝蔵の功績を紹介



スライドによる解説

江戸後期、北海道根室地方でアイヌ語通訳として活躍した当町出身の加賀伝蔵（1804～1874年）の功績を解説する講演「八森から蝦夷地へ」加賀家文書が語りかけてくれるもの」が、11月10日、ファガスで開催されました。

伝蔵が書き記した膨大な文書は、当時の蝦夷地を知るうえでとても貴重な資料とのことで、講師の北海道別海町の学芸員、石渡一人氏がその一部を解説。また、伝染病が流行した時には山へ逃げたアイヌ人を説得して予防接種を受けさせたり、野付半島で農耕を成功させるなど多くの業績を紹介しました。石渡学芸員は「八峰町出身者に、このような素晴らしい業績をあげた人物がいたことを伝えたかった」と話していました。

平成19年秋の火災予防運動  
田中地区で防災訓練

秋の火災予防運動期間にあわせて11月4日の早朝に、田中地区の住民や周辺の消防団が参加して「田中地区消防総合訓練」が行われました。

発煙筒に火を付けると「火事だー、火事だー」と大声で火事ぶれ、119番通報から始まり、付近住民によるバケツリレーでの初期消火、地元消防団が出勤しての消火活動が行われました。参加者たちは本番さながらの真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

最後に、住民が八峰消防署員の指導のもと「消火器の正しい使い方」を体験する訓練も行われ、防災意識を高められました。



手際の良いバケツリレー

行政協力員会議  
行政と地域の意見交換を  
行いました



各地域から要望が寄せられました

11月15日、峰栄館で行政協力員会議が開催され、各自治会の代表者が集まり、町長及び担当課長らと各地域が抱えている問題などを話し合いました。

今回出された要望は55件で、道路や側溝改良などの要望を中心にサル害や松食い虫、高潮対策、テレビ共同受信施設のデジタル化などの要望が出されました。

この会で寄せられた要望や意見を、今後の行政運営や予算に反映させていく予定です。

人々の温もりで満ちたまちづくりを目指して  
八峰町社会福祉大会を開催

11月21日、峰栄館で第2回社会福祉大会が開催され、福祉関係者や住民ら約200人が参加しました。

式典では、八峰町社会福祉協議会の菊地会長が「地域みんなが高齢者を温かく見守り助けあう社会づくりが必要だ」と挨拶を述べたあと、地域福祉に尽力した27人と4団体に表彰状や感謝状を贈呈しました。

式典後に、峰浜地区老人クラブ連合会女性部の会員による「みんな仲良く暮らしましょう」と題した寸劇を披露したほか、岩子小と八森中の児童生徒が福祉活動の体験発表を行いました。

また、藤里町の心といのちを考える会の袴田俊英会長が「しあわせについて」の講演を行いました。



峰浜地区老人クラブ女性部による手踊り

関東峰浜ふるさと会第23回総会開催  
キリタンポ鍋を囲んで  
語り合いました

11月18日東京都のホテル（アルカディア市ヶ谷）で開かれ、総会には、関東一円から約140名が集まり、盛大に開催されました。

町からは加藤町長や阿部議長のほか、JA秋田やまもとの米森組合長も出席し、町の近況などを会員に報告しました。

参加者は用意された「キリタンポ鍋」を囲み、ふるさとの味を楽しみながら懐かしい仲間と語り合いました。

また、参加した峰浜産直会の会員による寸劇では、10月に当町でホームステイをしながら研修した、農林水産省の児林聡美さんも参加し、販売風景を再現しながら、地元産の農産物をPRしました。



盛大に開催された総会

地域に根ざした子育て支援活動を  
八峰町八森愛育班  
30周年記念式典



感謝状を贈呈しました

10月17日、育児家庭への声かけや相談など、子育てしやすい地域づくり活動を行っている八峰町八森愛育班の30周年記念式典が、あきた白神体験センターで行われました。

式典では、会員ら約70人が出席し、組織が結成した昭和57年に八森愛育班長だった鈴木ミチさんと、同じく岩館愛育班長だった下坂ちやさんに感謝状が贈られました。

式典後、岸本節子さん（恩賜財団母子愛育会介意楠井新部長）を講師に「住みよい町づくりと愛育班活動」と題した記念講演が行われ、先進的な子育て支援を実施している活動事例など説明していました。

季節ハタハタ魚  
港に活気があふれる



活気づく港

今年も季節ハタハタ魚のシーズンが到来。県内沿岸のハタハタ魚が11月25日に解禁となり、沿岸にはたくさん網が仕掛けられました。今年の初魚は、昨年より6日早い11月28日で、3年ぶりに11月中の初魚となりました。水揚げは4キロにとどまり、型も小ぶりなことから定置網を一時休止することもありましたが、12月7日には大量のハタハタの接岸で漁が本格化し、港は一気に活気付きました。

岩館・八森両漁港ではハタハタの箱詰め作業や網はずし作業があちこちで見られました。